



人も、  
地球も、  
美しく。



世界中の企業が共通の目標として掲げる  
「サステナブルな社会」の実現のために、  
化粧品・トイレタリー容器に関わる企業としてできることは何か。

化粧品ブランドの裏方として、長年、お客様の「想い」を  
容器というカタチへ変えてきたツバキスタイルは、

海洋プラスチックごみが世界的な社会問題として注目を集め  
従来の石油由来の樹脂が問題視される中、

自分たちの生み出す「容器」が決して地球を汚すことのないように  
環境に配慮した容器づくりを進めています。

化粧品は、人を美しくするもの。  
でも、そのボトルの多くは  
地球を汚しています。

今まで化粧品ボトルの製造に使われてきたのは、

化石資源を使用した PET 樹脂。

しかし、石油由来のプラスチック素材は多くのゴミを生み出し

焼却の際に排出される CO<sub>2</sub> は地球温暖化の要因になるなど、

たくさんの社会問題を引き起こしています。



ツバキスタイルが取り組む  
「環境対策」と「SDGs」

地球環境に負荷を与えない環境対策容器



業界初となる飲料用ボトル  
100 % リサイクル樹脂を使った

再生 PET 容器



サトウキビが原料の  
植物性樹脂を使った

バイオマス PE・PET



業界初の二軸延伸  
プロー成型による

ポリエチレン(PE)ボトル

#### SGS・UL 認証

ツバキスタイルは、化粧品・トイレタリー容器業界で初めて世界的認証機関である SGS・UL の認証を取得しており、製品に含まれる植物由来原料の含有量を証明するだけでなく、悪質な非植物由来素材の故意による混入や事故を防止することが可能です。



#### SDGs

#### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ツバキスタイルは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



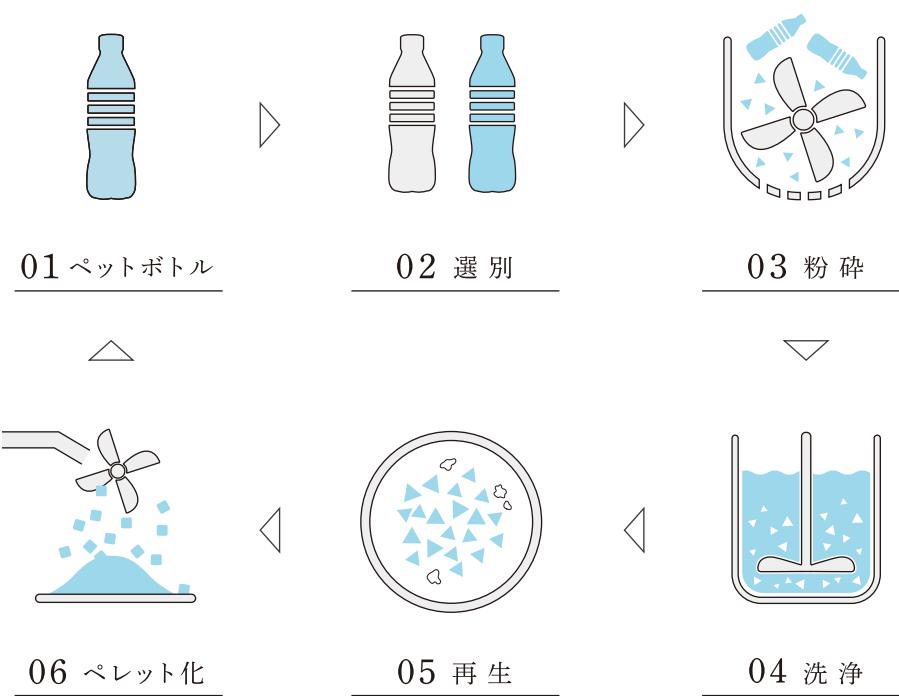
環境にやさしい選択をすることは、企業にとって「SDGs の実践」そのものであり未来の世代へ美しい地球を残していくための、最良の道と言えるのではないでしょうか。ツバキスタイルでは、以下の 5 項目に関する取り組みを積極的に行っています。



業界初となる飲料用ボトル  
100%リサイクル樹脂を使った

## 再生 PET 容器

すでに製造されている飲料用のプラスチックボトルを100%リサイクルすることで生まれる再生PET樹脂。大手飲料メーカーが、飲料用として使うこの樹脂は国際的な専門機関であるFDA（米国食品衣料品局）やEFSA（欧州食品安全期間）での認証を受けており、この樹脂を使って作られるボトルは、見た目や強度も石油由来のボトルと全く変わりません。容器の色を「透明色」にすれば、飲料PETボトルと同じようにリサイクルする事ができますので、永遠に石油由来の材料を使う必要がありません。

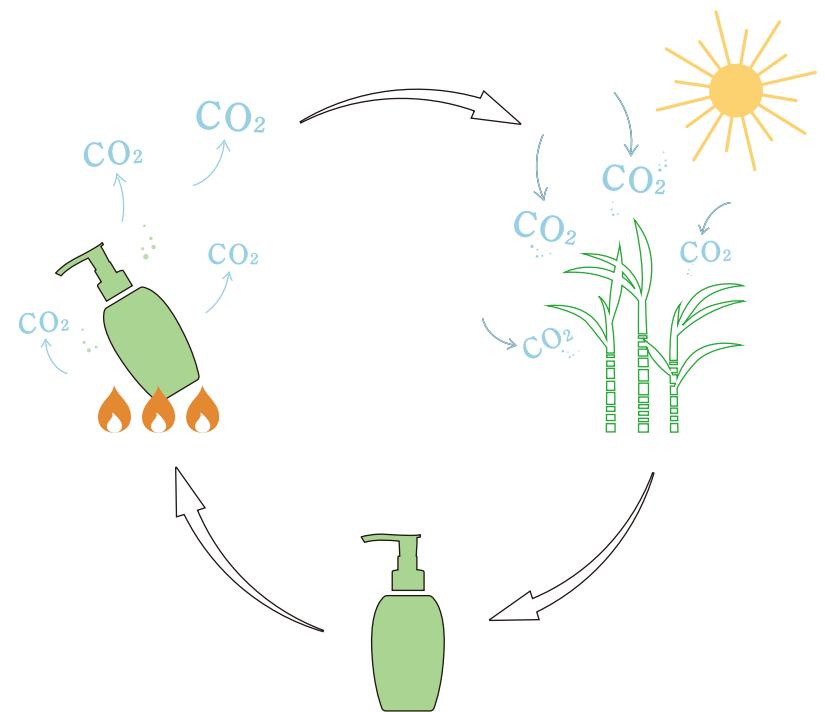




サトウキビが原料の植物性樹脂を使った  
バイオマス PE・PET

砂糖を絞り出した後の残りカスから精製したバイオ MEG（モノエチレングリコール）を使用したバイオマス樹脂。環境に負荷をかける事なく安心してご使用いただけるのはもちろん、美しい見た目や強度も、今までのボトルと何も変わりません。ボトルを使い終わって焼却処分する際に排出される CO<sub>2</sub> は、原料であるサトウキビが、成長過程において大気から吸収したものですので地球温暖化へ影響を与えることはありません。

※ 専門機関の調査では、石油由来の樹脂に比べ約 70 % の CO<sub>2</sub> を削減できることが分かっています。



地球に優しい  
素材を使うことで、  
環境への負荷を  
少しでも減らしたい。

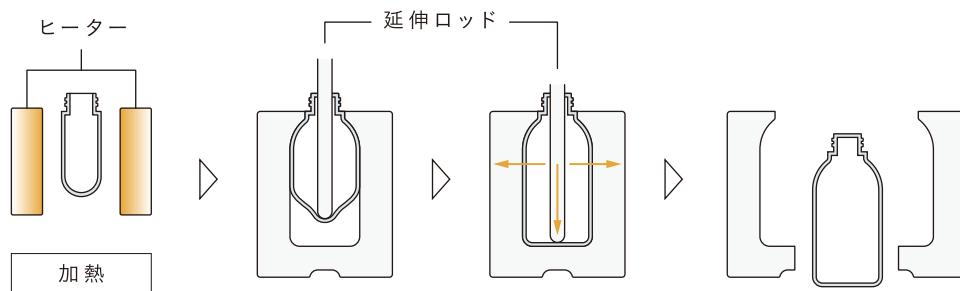




## 業界初の二軸延伸ブロー成型による ポリエチレン(PE)ボトル

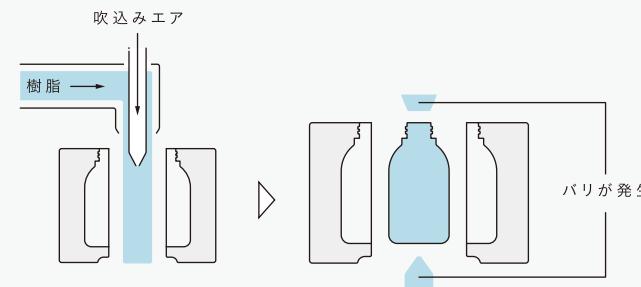
ツバキスタイルでは、業界初となる二軸延伸ブローでのPEボトル成型を実現。気密性が高く、耐久性や耐薬品性に優れたボトルを環境にやさしいカタチで生み出すことが可能になりました。また、製造過程で無駄なバリが発生しないため、再加工時のCO<sub>2</sub>を削減できるだけでなく、切削・粉塵による汚染の心配もありません。

### 延伸ブロー成型



### 従来のダイレクトブロー成型

樹脂を流し込む成型法のため、必ずボトル上下に、容器1本あたり平均3割にあたる約10gのバリが発生。  
樹脂を接着させて気密を保つため、ピンホールや接着不良などが発生します。



ツバキスタイルでは、  
持続可能な社会の実現のために  
他にも、環境へ配慮した様々な取り組みを進めています。

### 工場棟・事務所棟に LED照明による省エネルギー化

直管形LEDランプ搭載ベースライトを事務所棟・工場棟に968本導入。※パナソニック製  
従来の蛍光灯と比べて、ほぼ同じ明るさを実現しながら約42%の省エネを達成。光源寿命は約4万時間と、3.3倍近く長寿命化を実現。

倉庫棟には水銀灯タイプのLED照明も導入、電力消費量を半分に削減。全工場がLED照明化。



### 工場・倉庫屋根裏に 太陽光パネル設置と遮熱塗料に塗り替え

約4,100m<sup>2</sup>を遮熱塗料ガイナに塗り替えし、その上に太陽光パネルを1,788枚設置（設備容量277.14KW）、屋根に設置された太陽光パネルと遮熱塗料で、建物への日照を遮り、直射日光による建物内の気温上昇を抑えます。その結果、特に夏期など空調の必要性が高くなる時期に負荷を低減します。空調の負荷低減は、CO<sub>2</sub>排出削減や省エネルギー、光熱費抑制の効果をもたらします。

電力不足への対策は社会全体の課題です。自社内での太陽光発電によってさらに直接的な貢献が可能となります。売電による収入だけでなく、社会に貢献しているという事実も、かけがえのないメソッドだと当社は考えます。

